

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

観光政策課（内線：7637）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク加盟推進事業	12,957	2,850	10,107				12,957	
トータルコスト	17,100千円（前年度 6,656千円）							
従事する職員数	正職員：0.5人							
主な業務内容	負担金、補助金交付事務、県内学術分会の運営、ジオツアーの実績づくりに関する事業、普及・啓発事業の実施							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>山陰海岸国立公園を中心としたエリアの世界ジオパークネットワーク加盟に向けて、関係自治体、民間団体等が中心となり設立した「山陰海岸ジオパーク推進協議会」に対し、負担金を交付し、連携して事業を行っていく。</p> <p>また、県内学術部会の運営、ジオツアーの実績づくり、県内機運醸成のため、鳥取市、岩美町と連携した普及・啓発活動等を行い、平成22年中の世界ジオパークネットワーク加盟を目指す。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 1,786千円 協議会で実施する主な事業（予算額11,581千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク推進フォーラムの開催（京都府京丹後市開催） ・ジオガイドブック（外国語版）の作成 ・ボランティアガイド養成講座の実施 ・ジオパーク検定の実施 など <p>(2) 学術部門の強化に要する経費 1,364千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術関係鳥取分会運営経費 <p>(3) ジオツアーの実績づくりに要する経費 2,580千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルツアーの実施 ・小・中学校での地質観察会実施に対する支援 ・鳥取・兵庫両県によるジオ学習ツアーの開催に対する支援（定額補助：50万円上限） <p>(4) 受入態勢の整備に要する経費 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク案内板整備補助金（市町村、団体等が行う看板整備に対し1/2補助） <p>(5) 県内の機運醸成に要する経費等 2,227千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムの開催、ラッピングバス運行、チラシの作成 <p>(参考)</p> <p>1 世界ジオパークネットワークとは</p> <p>◇ジオパークは、地質遺産を含む一種の自然公園で、地質遺産を保護し研究に活用するとともに、教育や地域の振興に活かすことが目的。</p> <p>◇ユネスコの支援により、2004年に世界ジオパークネットワーク（事務局：ユネスコの生態・地球科学部門）が設立。（現在、中国、ヨーロッパを中心に57カ所が加盟。日本では、平成20年度に3地域が初めて加盟に向けた申請書を提出。）</p> <p>2 加盟によるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質遺産としての質の高さが保証される。 ・世界的な知名度が高まる。 <p>3 山陰海岸ジオパーク推進協議会の概要等</p> <p>◇役員：会長 中貝 宗治（豊岡市長） 副会長 竹内 功（鳥取市長）、中山 泰（京丹後市長） 幹事長 馬場 雅人（新温泉町長）</p> <p>◇設立：平成19年7月16日</p> <p>◇構成員：行政、商工団体、観光団体、漁協、遊漁船会社等36団体</p> <p>*行政は、3府県（京都府、兵庫県、鳥取県）、3市3町（京丹後市、豊岡市、新温泉町、香美町、鳥取市、岩美町）が参加。</p> <p>◇山陰海岸は「日本ジオパーク」に認定される。（平成20年12月）</p>								